# 松島町教育委員会会議議事録（令和8年9月定例会）

1　招 集 月 日　　令和8年9月25日（金曜日）

2　招 集 場 所　　松島町役場庁舎3階　301会議室

3　出　席　者　　内海俊行教育長、鈴木康夫教育長職務代理者、佐藤晴子委員、小澤晴司委員、
櫻井智恵委員

4　説 明 の た め 出 席 し た 者
安土哲教育次長、酒井文明教育課長、佐藤弘也学校教育班長、越野博之学校給食センター所長、
千葉昇生涯学習班長、赤間香澄中央公民館長

5　議 事 日 程
1．開会　　令和8年9月25日（金曜日）午前9時30分　開会　（録音開始）
2．前回委員会の議事録の承認
3．議事録の署名委員の指名　　小澤委員・佐藤委員
4．報告事項
(1) 一般事務報告
(2) 教育長報告
(3) 令和8年第3回松島町議会定例会について
(4) 議会全員協議会について
5．協議事項
(1) 令和8年9月定例会について
日程案：令和8年9月25日（金）午前9時30分　松島町役場3階　301会議室
6．閉会

６　議　事　録

１．開会　　午前9時30分
〔佐藤班長〕それでは、松島町教育委員会令和8年9月定例会を開会します。
本日、公務により、森田室長、武田主査、永沼専門員は欠席しております。
開会の挨拶を内海教育長よりお願いします。
〔内海教育長〕皆さん、おはようございます。「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが、朝方は冷え込み、半袖・短パンでは寒さを感じる一方で、夜間は寝苦しいなど、体調の管理が非常に難しい状況が続いておりますが、子どもたちは元気に登校しております。
小学校は学習発表会、中学校は運動会に向けてそろそろスタートを切っている頃だと思います。
報告になりますが、9月30日、長崎市議会の議員約12名が、子ども国際観光科の視察のために来庁される予定となっています。当日は私の方で、対応したいと考えております。
子どもたちの頑張っている様子は、ホームページに掲載されておりますので、ご覧いただければと思います。
今日もどうぞよろしくお願いします。
〔佐藤班長〕ありがとうございました。

２．前回委員会の議事録の承認
〔佐藤班長〕続きまして、2番、前回委員会の議事録の承認について。
8月定例会の議事録について、配付のとおり承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）
ありがとうございます。
定例会終了後に署名をいただきたいと思います。

３．議事録の署名委員の指名
〔佐藤班長〕続きまして、3番、議事録署名委員の指名となります。
今回は、小澤委員と佐藤委員を指名いたします。よろしくお願いします。

４．報告事項
（1）一般事務報告
〔佐藤班長〕続きまして、4番、報告事項に移ります。
（1）一般事務報告について、学校教育班から報告させていただきます。
〔佐藤班長〕資料1ページをお開きください。
行事報告についてご説明いたします。
9月1日から15日まで松島町議会定例会が開催され、前回の定例会で説明いたしました令和7年度一般会計歳入歳出決算について、認定されております。
また、9名の議員から17件の一般質問があり、うち6件が教育委員会関係となっておりますので、後ほど説明させていただきます。
16日から17日まで、松島第二小学校の5年生が、17日から18日まで松島第一小学校及び松島第五小学校の5年生が花山合宿を行い、17日には教育専門員がその様子を見学しております。
前日までの雨で実施を心配されていた沢遊びも、浅いところにはなりましたが実施できたということで子どもたちのよい思い出になったかと思います。
行事報告については以上となります。
2ページをお開き願います。引き続き、行事予定について説明いたします。
9月26日から27日まで、仙台北地区中学校新人大会が管内各会場で開催される予定です。
30日、長崎市議会が視察に来ますので、教育長に対応していただきます。
10月6日、宮城県緑化推進委員会が主催する「海が輝く豊かな里の森林公園再整備植樹祭」が西行戻しの松公園で開催され、各小学校の5年生が参加予定となっております。当日は、七、八人のグループになり、ジンダイアケボノやソメイヨシノ32本を植樹する予定となっております。
9日、第4回仙台管内教育委員会教育長会議がホテル白萩で開催予定となっており、教育長が出席予定です。
10日には、中学校で運動会が、17日は各小学校で学習発表会が、24日には各幼稚園で運動会が開催される予定となっております。

学校教育班からは以上となります。
〔佐藤班長〕続きまして、学校給食センター、よろしくお願いします。
〔越野所長〕学校給食センターです。
資料の3ページをご覧願います。
初めに、行事報告になります。
9月18日に松島第一幼稚園におきまして、3、4、5歳児合同によります栄養教諭による食育指導を行いました。
こちらは、「よくかんで食べることの大切さ」というテーマで、虫歯になりにくくなることですとか、成長期に必要な栄養分が特に吸収されやすくなるなど、そしゃくの重要性について、園児にも分かりやすいお話ということで実施したところでございます。
また、同日松島第一小学校におきまして、1年生の保護者の方を対象にした給食の試食会を行いました。
続きまして、行事予定になります。
10月7日に松島第一幼稚園におきまして、年長クラスの保護者の方を対象とした給食の試食会を予定しております。
16日には就学時健診において新入学児童学校給食説明会といたしまして、給食の申込みや食物アレルギーの事前確認、相談等を予定しております。
学校給食センターにつきましては以上となります。
〔佐藤班長〕それでは、学校教育班及び学校給食センターの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

（質疑）

佐藤委員　それでは、感想を3点と、それから質問を1点させていただきます。
まず、感想の1点目ですけれども、出前講座についてです。
企画調整課の方が、こども未来アカデミーということで出前講座をしていただいて、松島町のまちづくりについて、よいところ、そしてこうなったらいいなという視点から考えるという内容のようでございました。年明けに、町長をお招きしてプレゼンをするということ、こういうところで、ふだん接していない大人の方との交流、そして松島町の未来について考えるというとてもすばらしい企画であると思いました。
2点目は、花山合宿についてです。
こちらホームページを拝見しまして、子ども達の生き生きとした写真が載っていたり、花山でしか見ることのできない自然や様々な体験をしているなと。それから仲間との協力というところで、やはりとてもよい思い出になったと思いますし、子どもたちの成長にも確実につながっていると感じました。
3点目です。
幼児教育についてですが、松島町では、幼稚園のときから栄養指導、歯磨き指導、そして英語活動をしていることがとても私は意義のあることであると思っています。やはり幼児教育の重要性ということで、幼稚園でしっかり学び、小学校、中学校、義務教育につなげるということは、子どもたちの確実な成長へつながっていくと感じておりますので、今後とも引き続きよろしくお願いしたいと思います。
給食センターに質問1点です。
9月18日に行われた給食試食会で保護者からの感想等、把握していることがあればお聞かせ願いたいと思います。よろしくお願いいたします。

越野所長　9月18日の給食試食会の感想等につきまして、試食会のアンケートが未回収のため、現時点では把握できておりませんが、メニューがトンカツだったこともあり、保護者の反応はよかったようでした。
アンケートがまとまりましたら、別の機会にご報告させていただきます。
以上になります。

佐藤委員　学校給食をいただくというのも非常に貴重な機会であると思いますので、今後ともどうぞおいしい給食をよろしくお願いしたいと思います。
以上でございます。

〔佐藤班長〕ほかに質問等ございますでしょうか。（「なし」の声あり）
続きまして、生涯学習班、お願いします。

〔千葉班長〕それでは、資料4ページをご覧ください。
行事報告でございます。9月2日は瑞巌寺見学の事前学習、9日については、瑞巌寺の見学学習を第二小学校の6年生を対象に実施しております。
9月12日、令和8年度B&G宮城マリンスポーツフェスティバルを登米市の迫B&G海洋センターで実施しております。本町からは8名参加に加えて、ジュニア・リーダー1名が運営協力を行っております。
9月19日には、春日パーキングにおきまして、歴史体験まつりを実施し、499名の参加がありました。
同日、二市三町ジュニア・リーダー合同キャンプとして、宮城県松島自然の家で実施しております。
続きまして、行事予定でございます。
10月2日、「宮城県巡回小劇場」を文化観光交流館で行います。対象は、町内の各小学校4年生、5年生となっております。今年の巡回小劇場につきましては、演劇公演になります。
10月11日には二市三町ジュニア・リーダー合同スポーツ大会が塩竈市のふれあいエスプで開催されます。
10月12日、二市三町連携事業として、親子縄文土器づくり教室を七ヶ浜町の大木囲貝塚遺跡公園のほうで実施予定です。
10月24日には、令和8年度宮城県スポーツ推進委員研究大会登米市大会が登米市で実施予定です。
生涯学習につきましては、以上です。
〔佐藤班長〕続きまして、町史編さん室お願いします。
〔酒井課長〕資料は5ページになります。
行事報告につきましては、9月5日、歴史体験のボランティア養成講座を東北歴史博物館で実施しております。
次に、行事予定については、10月1日には令和8年第1回松島町文化財保護委員会、7日には全国史跡整備市町村協議会総会研修会が北海道函館市で開催予定となっております。
以上です。
〔佐藤班長〕続きまして、公民館お願いします。
〔赤間館長〕6ページになります。行事報告です。
9月20日、長松園まつりが実施されました。あいにくの雨天によりまして、根廻ひまわりまつりは中止となりました。
続いて行事予定です。
10月25日「松島町文化観光交流まつり」が開催される予定になっております。本日資料を添付しておりますので、後ほど、ご覧ください。
以上です。
〔佐藤班長〕それでは、生涯学習班、町史編さん室及び中央公民館の報告についてご質問等ございますでしょうか。（「なし」の声あり）

(2) 教育長報告
〔佐藤班長〕それでは、続きまして(2) 教育長報告について、内海教育長、お願いします。
〔内海教育長〕冒頭の挨拶で、9月7日の大雨に伴う休校についてお話ししようと思ったんですけれども、失念してしまいましたので、ここでお話しさせていただきます。9月7日、台風が近づいてきているということで、二市三町の対応策は松島と多賀城は休校、七ヶ浜、利府、塩竈は登校となりました。松島町では事前に保護者には6時半を目処に最終決定する旨を連絡しておりました。報道等にもあったとおり、仙台市では混乱があったようですが、本町はクレーム1つ来なかったという話でございました。
線状降水帯に関する情報は出ていませんでしたが安全を優先して休校という判断に至りました。結果的に何もありませんでしたが、判断理由を説明させていただきました。
次に、学力調査結果という資料をご覧ください。
全国学テの詳しい結果は次回の教育委員会定例会で永沼教育指導専門員より説明しますが、先立って私のほうから速報ということで簡単にお話しさせていただきます。
まず、子どもたちの学校の授業時間以外での勉強時間が30分以下6.2%、国や県と比べると松島町は、勉強していない小学生が少ないことがわかりました。家庭学習の重要性について、改めて一昨日の校長会で話をしました。
それから、昼休み、放課後、図書室にどのくらい行きますかということで、週1回以上というのが38.2%、全国や県を大きく上回っています。やはり本を読むということ、先生方も子どもたちも大切だと認識していると思います。

次に新聞をどれくらい読んでいますか、これも月1回、39.5%、週1回が25.9%ということで、これも全国、県を上回っています。NIE主権者教育をやっておりますので、新聞に触れることは非常に多いという結果が出ております。

先ほど佐藤委員からあった、こども未来アカデミーにおける主権者教育の取組みにより、子ども達の意見が主権者としての意識を持ったものへと徐々に変化していくことを期待しています。

それから国語の授業の内容はよく分かりますかということで、よく分かるという調査結果でした。

英語の勉強が好きですか、86.5%とこれも高い数字です。

それから、調査項目7、8については、最後まで問題について頑張って書きましたか、全く回答しなかったという項目はありませんかということで、どの教科でも0.0%ということでした。

右側、中学校をご覧ください。

③から行きます。中学校は休日の家庭学習時間は全国、県の平均より高い結果となりました。

図書室にどのくらい行きますか、ご覧のとおり全国、県を大きく上回っています。新聞についても同様です。

それから、数学の授業がよく分かりますか、当てはまらないというのが1.5%でこれも全国平均より非常に高いレベルに位置します。

ただ、英語の勉強が好きですか、30.9%ということで、小学生の好きが中学校になってくると失速しているという感じがします。

中学校も、9番、10番、0%で、全く何も書かないで学テの問題を出したということはなく、必ず何か書きましたということでございます。

あきらめずに取り組んだことが今回の学テでもいい結果になっているんだろうと思います。

裏面をご覧ください。

恥ずかしい話ですが、病膏肓に入るという文言初めて聞きました。

これは、容易に治らない病にかかることを意味し、転じて物語に熱中して手がつけられないさまを表す言葉だと。世界中の人々がスマホやパソコンなどから離れなくなっている、まさに病膏肓に入る状態なのではないかと警告をしております。

電子機器の便利さは自分の頭で考えずとも簡単に解答が得られること、一度染まると脱することが難しい、結果、人は物事を熟考したり、熟慮することを放棄、個を喪失するとさらに警告をしています。

最後の部分、教育のアナログ回帰が進んでいる。デジタルより紙の教科書が教育的に効果があるという考えで、文字を読み、自分の手で書き、計算して脳を育てる思考を養うという論述になっております。タブレットを使うようになって、また新しい教育が展開されておりますが、ノートもやはり必要だということで、このことを校長先生にも理解してもらって、タブレットだけではなく、ノートもきちんと取るように、うまく軽重をつけてやっていただきたいと思いました。

最近こんな話を聞きました。読書感想文をさらっと読んで、楽しかったこと、感激したことを指示し、400字3枚くらいの読書感想文にしてくださいとAIに頼むと、ちゃんと感想文ができあがる、これには私もさすがに参りました。そこまでAIに頼んでいる子がいるんだと。自分で考えた読書感想文と見分けがつかないと思います。極論かもしれませんが、自分の頭で考え、自分の考えを文字にしたためるというのもまた勉強の一環でないかなと思っております。

実際、私たちもAIを活用して文書作成を行うことがあり、業務の効率化につながる場面も数多くあります。しかしながらAIに過度に依存することのないよう気をつけたいと思います。

以上です。

〔佐藤班長〕それでは、教育長からの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

（質疑）

佐藤委員　では、感想を述べさせていただきます。

全国学テの状況を見ますと、宮城県でずっと言われてきたのは、無回答率が多いというところだったんですね。ところが、松島町の児童生徒につきましてはゼロ、回答しなかったがゼロということで、最後までしっかり取り組むというのを日々の授業の中でも組み込んでいることがこちらに生かされているんだろうなと。

色々な項目で数値が上回っているということからも、いい結果につながっているというふうに思いました。

これは、教育長のご指示の下に校長先生方がそれぞれの学校に落とし込んで、日々やっていることが確実に結果として現れているということで大変うれしく思ったところです。

あと、スマホやタブレット等につきましては、この新聞記事にもあるように、昔から言われている読み書き、そろばんというところがやはり大切にしていけたらなと思います。

まさに震災のときも、石巻の新聞社で手書きで新聞を出したというのがありましたけれども、何もなかったときに、さてどうすると、災害があったときにも判断するということになったときに、そのときにAIを頼るということできませんので、やはり常日頃から電子機器については道具として活用していくというのを押さえていけるといいのかなというふうにまた改めて再確認させていただいたところです。

ありがとうございます。よろしくお願いします。

小澤委員　基本的なところで教えていただければと思うのが、この全国学力・学習状況調査で、新聞をどれくらい読んでいますかということで、小学校、中学校とも松島町は全国よりかなり多いということで、全くの憶測なんですけれども、その小学生、中学生が新聞を読むというのはテレビ欄かなというふうに想像しまして、テレビ欄を松島町の子どもたちは読む、松島ではないところでは新聞を見なくてもテレビはスマホか何かで見る、何でこれだけの差がつくのかという背景がよく分からなくてですね。

内海教育長　では改めて。背景は、去年からNIE、Newspaper in Educationの略、NIEというのを指定を受けていますので、新聞に触れる、要するに意図的に新聞に触れるチャンスがあるわけで、テレビ欄を見ているのではなくて、いろいろな新聞を見て論評をしたりどういう考え方なのかとか、他紙の新聞、読売と河北を比較したりしています。それで読んでいますかという数字があがっている。

ただ、もっと深く言うと、それで理解しているんですかというところはまだまだこれからで、研究を進めていかなきゃならないところですが、まずは読んでもらうこと自体、高いレベルでないと理解もしてもらえないのかなと思っておりますので、そのような形でやっているところでございます。

要するにこの数字には必然性があるということでした。

鈴木委員　今のところで小中学校で、学校の授業時間以外での勉強時間というのは両方とも、中学校は高いですが小学校が30分以下と少なく6.2%になっていると。これ30分以上が多いんですか。それ何で30分と限定しているのかな。ある程度時間で区切って、30分以下がこのくらい少ないんだけれども、30分から60分が多いのか、これ全部少ないのか、そこが全く分からないんですよ。残りの94%の人がゼロということなのか、それともで40分くらい勉強している人が多いということかな。

内海教育長　10月定例会で、永沼専門員から詳しく説明してもらおうと思います。

鈴木委員　そうですね。宿題があれば30分ではなく、1時間くらいになるのが普通じゃないかなと思いました。

佐藤班長　項目は30分以下とか1時間以上とか幾つかあるんですけれども、30分以下、全然勉強していない子は少ないですよということで、ここを取り上げたということでした。

鈴木委員　そういうことか。勉強していますよということ。

佐藤班長　小学校については、宿題があるので家庭で1時間以上勉強している子が多いですよと。

鈴木委員　そうすると、松島町内は、そうすると案外うちで勉強している子が多いよという捉え方ですね。

佐藤班長　そうですね。それに比べて中学校は、平日は部活動とかあって勉強する時間が全国とかと同じくらいですが、土日にまとめて頑張って勉強している子が多いですよということの説明です。

鈴木委員　わかりました。

鈴木委員　それからここで気になったのが、小学校の道徳の授業で自分の考えを話し合ったりする活動で、これ極めて重要な時間だと思うんだけれども、これ少ないですね。

これも少し気になったのと、中学校でタブレットを1、2年生が使うのが多い、これも本町の特徴なのかな。この2点が気になりました。いい悪いという問題とは別に。何か意味があるのかな。

佐藤班長　道徳の授業については、当てはまらない子が少ないですよということなので、話し合ったり考えを深めたりするという子が多いですよということです。

タブレットにつきましては、教科問わずに授業で多く使っているので、そこは先ほどの新聞ではないですけれども、ノートとのバランスを考慮しながらというところです。

〔佐藤班長〕ほかに質疑よろしいでしょうか。（「なし」の声あり）

(3) 令和8年第3回松島町議会定例会について

〔佐藤班長〕続きまして、(3) 令和8年度第3回松島町議会定例会について、事務局より説明をお願いします。

〔酒井課長〕それでは、一般質問の内容について、説明いたします。

今回、資料は12ページから21ページとなります。交流館、勤労青少年ホームなどの施設のメンテナンス関係で音響の設備やエアコンの取付け、公園の利用等についての質問に対して、機会に応じて改修を検討していきますという旨の回答をしております。

そのほか、給食の非喫食者、食べなかった子どもたちに対する支援について、予算化を求めて質問している議員もおりましたので、支援をしますという回答をしております。

先ほど佐藤委員から大人と触れ合う時間についてご意見がありましたが、企業連携の取り組みとして、イノベーションヒルズへ足を運んで、大型重機を間近で見学したり、質問や回答を行うなど、学校教育の枠にとどまらない体験の場を提供していること、ほかには、ここ数年、トヨタバッテリーさんのほうで、レモンを使った化学反応でバッテリー充電するという実習を学校で開催していただいたりしますので、そういう部分も回答しております。

そのほか、子どもの見守りについて、熊やイノシシが出たときの対応などの質問については、地域の方やスクールガードリーダーなどの関係者と一緒に一丸となって対応していくという旨、回答しております。

資料の22ページから24ページでは会計年度任用職員が学校内の草刈り作業後に、トラックに草刈機を積もうとした際に、隣の車に傷をつけた事故の和解及び損害賠償について議決をいただいております。修理代としては20万1,597円を記載しておりますが、こちらは車の修理代のほかに、10日分の代車費用も含みでの金額となっております。

以上になります。

〔佐藤班長〕それでは、ただいまの報告について、質問等ございますでしょうか。（「なし」の声あり）

(4) 議会全員協議会について

〔佐藤班長〕続きまして、(4) 議会全員協議会について、事務局より説明をお願いします。

〔安土次長〕議会全員協議会のほうで、協議事項2つ提案させていただきました。

お手元の資料については前回の定例会で説明した内容と一緒ですので、割愛させていただきます。

協議1の松島町幼保小中学校再編整備について、初めて町としてこういう方向性で進んでいくんだということを示されたという認識を持っていただいたところです。議員との協議の受け答えの中では、幼保にしても小中学校についても、その施設の規模に関する事業費であったり、財源の内訳をもう少し明らかにしていただけないとどれがよいのか判断しかねるといった意見や、幼保小中学校とも新しい施設、また統合した施設と現在の施設の維持管理経費の比較についても、もっと分かりやすく示してほしいというような話がありました。数字的な部分は押さえておりましたが、町長はじめ、再編整備することによって経費の節減を図るのではなく、限られた財源を児童生徒に還元していこうという取組ですので、経費の節減が図られるといったような説明はしない方針でした。結果、経費の比較を求められましたので今後説明していく形になります。11月にもう一度、議会全員協議会を開く予定で、町長と教育長と日程を調整しているところです。

遅くても12月にもう一度、再編について全員協議会の開催を予定しておりますので、次回以降の定例会で報告させていただきたいと思っております。

協議2の松島町教育施設の使用等見直し検討につきましては、おおむね資料のとおりの協議内容でお認めいただいたところになりますので、来年の3月議会定例会に使用料等を見直した条例改正を提出し、来年の4月から9月は周知期間として、施行したいと思っています。

全協につきましてはこの2点になりますが、補足で、議会の中で総括質疑がございました。総括質疑は、ご存知のとおり、通告のない質問に対して答えていくものになっています。大きく3点ございました。

1つが温水プール施設をはじめとしました指定管理者の運営体制、また、経費節減の見直しの取組などについての成果はいかにと。実際の取組状況を回答させていただいて、今後、省エネルギー化等の取組についても、積極的に取り組まれたいというふうに意見をいただいておりました。

2点目は、文化財の保存状況についてでした。現在の旧松島第三小学校のほうに文化財のほう保存しているわ

けですけれども、もっとよい環境で保存し、住民の目に触れる機会を持つべきではないかという意見をいただいたところです。ただし、費用的にも難しいところもございますので、検討を重ねていきたいと思っております。
最後に、子ども国際観光課を中心とした学力成果について問われました。これは教育長が話をしておりましたとおり、学テの結果を見ても明らかですし、国際観光課を通じて得た成果は出ていますということで教育長答弁となっておりました。
以上で簡潔ですが、報告を終わらせていただきます。
〔佐藤班長〕それではただいまの報告について、質問等ございますでしょうか。（「なし」の声あり）

５．協議事項
(1) 令和8年10月定例会について
日程案：令和8年10月30日（金） 午前9時30分　松島町役場3階　301会議
〔佐藤班長〕続きまして、5、協議事項に移ります。
(1) 令和8年10月定例会について、日程案として、10月30日金曜日、午前9時半から、松島町役場3階301会議室で予定しております。
こちらの日程でよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）
ありがとうございます。

６．閉会　　午前10時15分
〔佐藤班長〕それでは、閉会に移ります。
閉会の挨拶を鈴木教育長職務代理者よりお願いいたします。
〔鈴木委員〕今日はどうもご苦労さまでございました。
本日配布された資料を拝見し、教育長のお話も含め大変共感いたしました。本日の資料を読んでも、まったく同感であり深く考えさせられるものがありました。現場の教員もその趣旨を理解した上で、さまざまな取り組みを行っていることと思います。
AIを活用すればあらゆる質問に対して即座に回答が得られますが、その反面、自ら体験し判断する機会が希薄になるのではないかと強く懸念しております。極めて幼い子どもまでスマホに触れている状況です。
そうした中で課題となるのは、自ら思考し判断させる教育のあり方です。将棋を例に挙げても、現在はAIに勝てる人はおらず、世界大会であっても勝てる者はいません。「AIに勝てないのになぜ指すのか」といった議論もありますが、対局を通じて会話を交わし思考を深める時間にこそ価値があるのではないかと思っています。世界観そのものが変化してきていると実感します。
そんな中にあって、松島は「松島まるごと学」をはじめ、花山での体験学習や瑞巌寺に関する学びといった実体験ができている。AIそのものを否定するのではなくて、AIを使うべきか否かを自分で判断できる必要だと。先生達も、こういった時代背景を踏まえてご指導いただいていると思いますが、とても重要な視点だと感じております。今後とも「松島まるごと学」をはじめとする体験型の学びを重点的に展開いただければと思います。
今日はどうもありがとうございました。
〔佐藤班長〕以上をもちまして令和8年9月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

この会議録の作成者は、次のとおりである。
教育課学校教育班　主査　武田　悠杜

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和8年10月30日

委　員

委　員